単元名

　結果と結論のつながりを捉えよう　「ぞうの重さを量る」「花を見つける手がかり」　　　　　　第４学年　Ｃ読むこと

小学校国語科　岩見沢市立教育研究所

キーワード　振り返りを生かした「主体的に学習に取り組む態度」の評価

内容のまとまり

　第３学年及び第４学年

〔知識及び技能〕(2) 情報の扱い方に関する事項

〔思考力，判断力，表現力等〕「Ｃ読むこと」

１　単元の目標

(1) 考えとそれを支える理由や事例，全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。

(2) 段落相互の関係に着目しながら，考えとそれを支える理由や事例との関係などについて，叙述を基に捉えることができる。

(3) 言葉がもつよさに気付くとともに，幅広く読書をし，国語を大切にして，思いや考えを伝え合おうとする。

２　単元で取り上げる言語活動

筆者の主張や述べ方を基に，説明文の構成（始め－中－終わり）と結果（事実）と結論（意見）のつながりを捉える。

３　単元の評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ①考えとそれを支える理由や事例，全体と中心など情報と情報との関係について理解している。（(2)ア） | ①「読むこと」において，段落相互の関係に着目しながら，考えとそれを支える理由や事例との関係などについて，叙述を基に捉えている。（Ｃ(1)ア） | ①学習の見通しをもって，粘り強く取り組み，考えとそれを支える理由や事例との関係などについて，叙述を基に捉えようとしている。 |

４　指導と評価の計画（全８時間）

「・：指導に生かす評価を行う代表的な場面」，「○：全員の学習状況を記録に残す評価を行う場面」

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 学習活動 | 評価規準（評価方法） | | |
| 知識・技能 | 思考・判断・  表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| １ | 『ぞうの重さを量る』  題名読みで大まかな内容を把握するとともに，説明文の構成（始め－中－終わり）をつかむ。  筆者の述べ方の工夫をとらえて，自分の言葉で説明しよう。 | ・知①（行動観察，ノート） |  | ・態①（行動観察，ノート） |
| ２ | 『花を見つける手がかり』  題名読みで大まかな内容を把握するとともに，「中」を段落分けし，小見出しをつける。 |  | 〇思①（行動観察，ノート） |  |
| ３ | ３つの実験から構成される説明文の構成（始め－中－終わり）をつかみ，「始め」と「終わり」の性質を確かめる。 | ・知①（行動観察） |  |  |
| ４  ５ | 「中」の並び方を検討し，結果と結論，事実と意見を捉える。 | ・知①（行動観察，ノート） |  | ・態①（行動観察，ノート） |
| ６  本時７ | 筆者の主張や述べ方の工夫を捉え，この説明文について，自分の言葉で説明する。 |  | 〇思①（行動観察，ノート） | 〇態①（行動観察，ノート） |
| ８ | 「言葉」の学習をし，学習を振り返る。 | 〇知①（ノート） |  |  |

５　本時案（６／８）

1. 本時の目標

理由や事例，全体と中心など，情報と情報の関係から筆者の主張や述べ方の工夫を捉えることができる。

1. 本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | ○学習活動　・児童の反応 | ◇留意点　☆評価 |
| 導入 | ○音読（３分間）  ○筆者が一番伝えたい段落はどこかを考え，自分の選んだ段落番号と，理由をノートに書く。 | ◇選択，記述により全員参加を保障する。 |
| 展開 | ○ペア交流，全体交流する。  ・私は⑮が筆者の一番伝えたい段落だと思います。なぜなら最後に書いてあるからです。  ・私は⑭だと思います。なぜなら最初の問いの答えが⑭段落だからです。  ○説明文で筆者の一番伝えたいことを「主張」ということを学ぶ。  ・主張を捉えることが，説明文を読むときに重要だ。  ○筆者の主張を書き抜く。  「考え方の筋道を立てて，実験と観察を重ねていけば，その生活の仕組みを探っていくことができるのです。」  　筆者の述べ方の工夫に迫ろう。  ○この説明文で筆者はどんな筋道を立てて説明しているのか考えて，ノートに書く。書けた児童同士が交流し，意見を言い合う。  ○数名が発表する。  ・この説明文では，まず，問題に出会う部分で「ちょうにきいてみることはできない」と興味を引いている。そして，実験と結果を繰り返して自分の考えを述べているところが筋道になっている。  ・この説明文は花で実験をして事実を押さえ，違う可能性をつぶすために更に実験をして意見を述べるという筋道を立てている。  ○一番納得できた意見を選び，その子の考えに対する自分の考えを書く。  　・私は○○さんの意見に一番納得しました。なぜなら，筆者は実験の順番を考えて，一つ一つ説明していたと思うからです。それが筆者の考え方の筋道だと思いました。 | ◇友達の意見に対して賛成や反対の意見をもたせ，話し合わせる。  ◇最終的には，形式段落の⑮に決着させる。  ◇「主張」を国語科で学ぶ知識を学習用語として抽出し，汎用的な学力として身に付けさせる。  ◇意見交流を活発に行うために，教師対児童，児童対児童の対話の方法を用いる。（「～さんの意見に賛成（反対）です。なぜなら～」「～さんと似ていて～」「詳しく言ってください」「～さんの意見を言い換えると～」等）  ◇ロイロノートの配布機能を使って，事例の紹介をする。  ◇友達の意見に対する評価（相互評価）により，自分の考えの修正，深化を目指す。  ◇自分の考えをもちにくい児童も友達の意見を選ぶことで，全員参加の授業とする。  ☆思①段落相互の関係に着目しながら，考えとそれを支える理由や事例との関係などについて，叙述を基に捉えている。（ノート，発言） |
| 終末 | ○学習の振り返りを記述し，交流する。  ・今日は筆者の伝えたいことを考えた。筆者の言いたいことは主張といい，説明文には重要だと思った。○○さんが，「実験の結果を重ねることが筆者の考え方の筋道だ」と言っていて自分の考えも少し変わったので，家でも他の説明文を読んでみたい。 | ☆態①粘り強く，考えとそれを支える理由や事例との関係などについて，叙述を基に捉えようとしている。（行動観察，ノート）  ◇ロイロノートに提出させる。 |

６　学習の見通しがもてる学び方の工夫

○　単元全体を見通した学習活動の設定と共有

　　単元全体を見通した活動を次のように設定し説明することで，学習の見通しを児童と共有した。

【小学校第４学年国語科単元「けっかとけつろんのつながりをとらえよう」における学習活動】

・説明文の構成（始め－中－終わり）を捉える。

・筆者の主張や述べ方を基に，結果（事実）と結論（意見）のつながりを捉える。

　　上記２点は，今後説明文を読む際にも重要となることを，学習の最初に下学年の説明文を例示して

　理解を図った。

　　また，授業の際には，教科書の叙述を基に意見を述べたり，説明したりする話し合いを重視するとともに，振り返りの場面で，友達の意見に共感したことや自分の考えが修正されたことなど，４つの視点（後述）に基づいて指導を重ねてきた。

７　「主体的に学習に取り組む態度」の評価の実際

○　単元を通した「主体的に学習に取り組む態度」の評価

　　毎時間学習の最後に振り返りの時間を設け，その時間に分かったこと（成長），よく分からなかったこと（疑問），考えを深める参考となった友達の意見（仲間），これからどんなことに取り組みたいか（繋ぐ）の４つの視点を中心に記述させた。視点を明らかにすることで，振り返りの質が向上すると考えた。また，振り返りや授業の中での記述をロイロノートの機能を使って集め，次時以降の授業づくりに活用するとともに，評価の一資料とした。

　　とりわけ，振り返りの過程では，ロイロノートの機能を生かして，記述を全員で読み合ったり児童同士が互いの記述に対するよさを送り合ったりすることで，児童の伝え合おうとする意識の高まりが見られた。

　　図１は抽出児童の第４時の記述，図２は第６時の記述である。第４時では友達の発言についてのみ振り返りをしているが，第６時では友達の意見からよい意見を選ぶことで考えを深め，筆者の述べ方について自分なりの考えを再構築している。

　　このように，友達の意見を参考に，粘り強く筆者の主張や述べ方の特徴を捉えようとしている姿が見られたことから，この抽出児童を「十分満足できる」状況（Ａ）と評価した。

図１　＜抽出児童の第４時の記述＞　　　　図２　＜抽出児童の第６時の記述＞

どう分けるかを考えて，意見がたくさん出て良かったと思います。◎◎◎さんと，〇〇〇さんと，△△△さんがたくさん発表していて，がんばっているなと思いました。いつもはあんまり発表しない□□□さんががんばっているなと思いました。すごい色々な人が参加してがんばっていると思いました。

この筆者は色々な実験を重ねる大切さを最後に書いていることと，実験を重ねて答えを出していることを読者にその大切さを知ってもらうために作ったと思います。それと，読者にすじみちを立てながらさぐっていく問いの文を入れています。

私は，□□□さんと▽▽▽さんの発表がいいと思います。理由は実験を積み重ねて答えを出すという大切なことを言っているから。もう一つの理由は，大切なことだけど残りを少しずつ減らして答えを出す大切さを書いているからです。

参考文献

国立教育政策研究所「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料小学校国語」，2020年

西岡加名恵「パフォーマンス課題の設定とルーブリックの作成」, 2008年

https://www.naruto-u.ac.jp/\_files/00006835/kuoennsiryou.pdf